

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社 FAMILY			
所在地	東京都千代田区岩本法二丁目 11 番 1 号			
業種	R サービス業（他に分類されないもの）			
常用労働者数	29 人			
事業内容	飲食店の経営、食料品の製造加工、食料品の卸及び販売 他			
ホームページ	https://www.fmly.tokyo/			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月2日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付）			
③回収率	対象者（都内全従業員）29名のうち回収数28名 回収率 96.5%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により「介護を経験したがある」従業員は11%（3名）で、その全員が「現在も介護をしている」と回答している。 ・今後の従業員の介護見込みについて 今後5年以内に「介護をする可能性がある」従業員は32%、「ない」は68%となった。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「制度があるかどうか知らない」が82%、「制度はない」が11%と大半が認知できていない状況である。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護することに対して「不安を感じている」従業員は82%おり、「介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるか」に対しては、「続けられる」9%、「続けられない」18%、「わからない」73%であった。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 望ましい働き方として、「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する。」という回答が57%と最も多く、次いで「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が21%という回答であったが、一方で「今の仕事を辞めて介護に専念する」が11%、「仕事の仕方を変えない」が7%という回答であった。 			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年9月22日			
②メンバー	総計2名（うち都内勤務の従業員1名） （メンバー内訳）役員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月22日	11:30~12:00	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	9月26日	10:30~11:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	9月30日	13:30~14:00	目標について意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～ 定期的な個人面談を通じて、介護の状況と介護休業の利用ニーズを把握する 令和4年11月～ 社内介護休業制度だけでなく、公的介護保険制度も含めた介護支援制度について研修会を実施し、制度の周知をはかる				